

# Scouting Ibaraki

2018 vol.47

## 年頭所感



## 『スカウトのためのスカウティングを』

理事長 ハ木 雄二

晴れ晴れとした新春を加盟員の皆さんと迎えることができたことを大変うれしく思います。

昨年は、日本連盟「大和の森」高萩スカウトフィールドで開催された「日本ジャンボレット高萩2017」に地元県連としてその運営に協力し、県内外にスカウトフィールドを周知させることができました。また、10月に計画した「カブ・ビーバーラリー2017」は降雨のため中止せざるを得ませんでしたが、準備したプログラムについては、今後何等かの形で実施したいと計画中です。

さて、今年は第17回日本スカウトジャンボリーの年、原隊参加を基本とした初めてのジャンボリーですが、参加したスカウトがその目的を達成できるよう、皆さんの協力を得て任務を果たしてまいります。

一方、加盟登録人員は、長年にわたり減少しておりますが、その

原因として少子化、意識の多様化、理解度の不足等々が云われています。2021年にを迎える創立70周年に向け、組織の拡大・充実を図るために、スカウトに対し「スカウトのためのスカウティング」を提供し、本来の目的である班対抗や組対抗の活動、あるいは、スカウトが「楽しく」「役に立つ」と実感できている活動、さらには、スカウトの保護者が上進させたいと思えるような活動となるよう、指導者一人ひとりが課題と向き合うことが必要あります。

また、本年度は、加盟員全員が組織拡大の担い手としての行動ができるよう情報を発信し、スカウト活動が広く地域社会に理解されるよう努めてまいります。

県連盟にとって、まだまだ厳しい環境は続くものと思いますが、加盟員の皆さんのご協力と行動をお願いしまして、年頭の所感といたします。

## グリンバーのつどい開催される！

11月4日から5日に亘って行われた。グリーンバーの集いは、班を率いる班長・次長（班長章・次長章のデザインが緑の線（バー）であることからグリーンバーと呼ばれる）に、班を牽引するための意識や姿勢、任務と運営、持るべき知識と技能等について、県内で統一した指導をコミッショナーが行い、隊長の日常の隊活動を支援する目的で実施しています。

今年度は14名のスカウトが2つの班に分かれて、実際に隊編成で



## ベンチャーの取り組み

これまでベンチャーの活動は隊ごとの活動を中心で、県連盟はベンチャーラリーを開催していましたが、参加者は少数に留まっていました。2015年の第23回世界スカウトジャンボリーを契機に、派遣団を組んだベンチャースカウトたちの交流と自発活動を推進すべく、昨年度より県連盟が開催するベンチャーラリーは、ベンチャースカウトの自発活動を推進し、地区・団のベンチャーの交流や活動を活性化するものとして、実行委員会をつくり、ベンチャースカウトの自主的な運営により企画・計画・実行・報告する形に改めました。その結果、昨年度は10月に行われたベンチャーのつどいで「雪中キャンプ」の企画が立

ち上がり、2月に磐梯青少年交流の家で雪中キャンプを実施しました。今年度は、4月にベンチャーアクティビティ報告会を開催し、全国スカウトフォーラムや雪中キャンプ、日韓スカウト交歓事業の報告、富士章受章スカウトによる「私のScouting」発表を行いました。また、ベンチャーラリーについては昨年度に引き続き、ベンチャースカウトたちによる実行委員会を組織し、4回の実行委員会を開催し、2月4日（日）に岩間第一分校跡でお祭り＆地区対抗運動会（テーマ「季節外れを楽しもう！」）を開催する予定です。様々なベンチャー活動を実施する過程で、地区でベンチャーの集会を開いたり、ベンチャースカウトの交流も進みました。8月に開催された日本ジャンボレット2017では、茨城DAYの運営に積極的にかかわるなど、自発活動が定着しつつあります。



## 茨城県自然博物館見学(第1地区・第2地区)



### 県自然博物館見学の感想

カブラリーが雨天中止となり、県自然博物館へ行きました。

博物館では、組ごと(3組)に分かれて見学しました。順路通りに行く組、皆で相談して一番行きたい場所を最初に見る組と様々でした。館内は、サメの特別展があったり、大迫力の動く恐竜がいたりと、スカウト達の大好きなものばかりでしたので、とても満足そうでした。

相手の意見に耳を傾ける、皆で協力して一緒に行動する、家族で行くのとは違う貴重な博物館体験となり、とても良かったと思います。

ボイスカウトひたちなか第1団 カブ隊デンリー 堀内 順子

の地区、団は代替行事を実施しました。そこではスカウト達の明るい笑顔が弾けていた！

## つくば実験植物園(第4地区)

つくば実験植物園に行き、秋を感じた、楽しい一日でした。



# 委員会だより

## 総務委員会

- ① 団委員長セミナー開催 次年度は水戸以北で開催予定
- ② 防災キャラバン(下妻)実施 当該地区のまつり、会場の収客力、夏休み最終日がかさなり、参加者が少なかった。
- ③ 県連/維持財団懇談会を計画中
- ④ チャリティゴルフ大会の開催支援 42名参加
- ⑤ CBR2017の広報活動実施 県、土浦市、常陽リビング社への後援依頼実施。「JA共済くらしの活動」より助成受領。常陽リビング誌へのラリー開催を掲載。
- ⑥ 全国組織拡充担当委員会への出席 吉川・石田委員を派遣。
- ⑦ 団委員長研修会(平成30年2月25日)を土浦で開催

## コミッショナーグループ

- ① 第17回日本スカウトジャンボリー参加支援委員会を立ち上げた。構成メンバーには地区コミッショナーグループが入った体制とした。
- ② 各種研修についての検討実施
- ③ ラウンドテーブルの充実を図っている。
- ④ WB研修所では効果、評価まで十分に行いたい。
- ⑤ 今年度の指導者研修についての検討実施「定型訓練スタッフハンドブック作成のしおり」等を充実し、訓練体制を作る。
- ⑥ 今後の予定  
コミッショナーミーティング、各種訓練と研修

## 茨城県連盟維持財団

### 第9回チャリティゴルフ大会

10月19日、水戸・ゴルフ・クラブで雨の中42名が参加して行われた。立原維持財団理事長の挨拶に続き八木理事長の乾杯で始まった懇親会の中で優勝・井上さん、準優勝・今村さん、3位・富田さん、以下参加者全員が表彰を受け取り、にこやかに散会した。



## 指導者養成委員会

今年度から始まったセーフ・フォーム・ハームの研修も11月5日土浦青少年の家では74名の参加者と講師3名(杉浦、関原、吉田)、スタッフ3名で行われ、参加者は班に分かれて受講し、講師の講義後に各班ごとの討議と発表の形式で実施され、中身の濃い研修となった。最後には杉浦主任講師のまとめと質疑応答があり、有意義のうちに終了した。



## プログラム委員会活動状況

プログラム委員会は、コミッショナー、トレーニングチームと連携して、各団において楽しく魅力あるスカウティングを享受できるか、及びそのためのスカウト精神の習得に焦点を当て、施策を実施してきました。

### ★ベンチャー活動報告会

4月16日（日） 青少年会館

### ★急救法講習

5月21日（日） 土浦市青少年の家

11月23日（木） 笠間市友部公民館

### ★ベンチャーのつどい

6月24日（土）～6月25日（日）

土浦市青少年の家・土浦訓練野営場

### ★ベンチャーラリー2017（地区対抗運動会・出店）

2月4日（日） 笠間市岩間第一分校跡で開催予定

## 「大和の森」高萩スカウトフィールド特別委員会

① 日本連盟と高萩市の連携の『しぜんとあそぼうデイキャンプ2017in高萩スカウトフィールド』が11月に8回行われ、野外活動の支援をした。11月に8回開催

② 茨城県と高萩市、関係機関等との連携による支援  
随時実施

③ 日本連盟「大和の森」高萩スカウトフィールド実行委員会への協力

「大和の森」高萩スカウトフィールドの整備等に関する協議会(茨城県教育委員会、高萩市、BS日本連盟、茨城県連盟)に5/5回出席。

※以上で野営場整備については一応の終了を見た。なお、今後も日本連盟、茨城県、高萩市、茨城県連盟の4者協議は続ける。